

授業改善推進プラン

旭丘中学校

教科名 社会科

担当教員 市川 太郎

1. 昨年度の授業改善の成果と課題

【成果】 ワークシートの改善により、知識・理解力を高めることができた。また、身近な課題を取りあげることににより、社会的事象および社会科学習への興味・関心を高めることができた。

【課題】 資料（文献資料・地図・グラフなど）を読み取る力、表現・思考力（書く・話し合う・意見をまとめるなど）を伸ばす。

2. 今年度の本校生徒の学習指導上の課題

1 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本および世界の諸地域の特色を、地域の環境や人々の暮らしと関連付けて多角的に考察・理解させる。 ・各時代の人々の生活の様子と、各時代の特色を関連付けながら学習させる。 <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた学習課題に対して真剣に取り組もうという姿勢が見られる。 ・意欲的に自ら課題を見付け、考え、判断し、自分の考えをまとめ発表する力を育てる。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞やテレビなどのニュースに触れることによって、現代の世界や日本の動きについて関心をもたせる。
2 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界地理との比較を通して、日本および各地方の特色を客観的に捉えさせる。 ・世界の歴史を背景に、日本の各時代の特色を人間の営みと関連付けて多角的に理解させる。 ・様々な資料を活用して、それぞれの時代を公正に判断できるようにする。 <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた学習課題に対して取り組もうという姿勢は見られる。 ・自分の考えたことをまとめて文章化し、それを発表する力を育てる。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞やテレビなどのニュースに触れることによって、現代の世界や日本の動きについて関心をもたせる。
3 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞・テレビなどのニュースを活用しながら、日本の歴史・政治・経済・社会・個人の関わりについて理解させる。 <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会事象などに興味・関心をもつ生徒が多く、真剣に取り組もうという姿勢がみられる。 ・与えられた学習課題に対しては前向きに努力するが、自ら考え、判断し、意見を発表する態度が不足している。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞・テレビなどのニュースに触れることによって、現代社会の諸問題について着目させ、内容を理解できるようにする。

3. 今後授業を行っていく上での「指導方法の課題分析」と「具体的な授業改善案」

	指導方法の課題	具体的な授業改善案
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ○発言の機会を増やし、全員が積極的に授業に参加できるようにする。 ○個人発表またはグループ内での発表など口頭発表の機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各時間のねらいや設問のポイントがはっきりしたものとなるように工夫する。 ○知識を習得させるだけの講義形式に偏らないよう、グループでの学習活動を取り入れる。 ○地図・グラフ・表などの資料を多く取り入れるようにする。 ○生徒が興味・関心をもてるように、新聞やテレビでの報道なども利用して、できるだけ現代の社会的事象と結び付けた指導を進める。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ○講義形式の授業とグループ学習とをバランス良く組み合わせ、全員が積極的に参加できるような工夫をする。 ○生徒に、知識や考えたことをまとめさせて、それを文章化し発表させる機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○板書ばかりの講義だけにならないよう、ワークシートや視聴覚資料を効果的に活用する。 ○文献資料・地図・写真などの資料を多く取り入れるようにする。 ○多くの生徒が興味・関心をもてるように、新聞やテレビでの報道なども利用して、できるだけ現代の社会事象と結び付けた指導を進める。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒に、知識や考えたことをまとめさせて、それを文章化し発表させる機会を増やす。 ○講義形式の授業とグループ学習をバランス良く組み合わせ、全員が積極的に参加できるような工夫をする。 ○学習進度が計画から大幅に遅れがちになるため、より効率的な学習計画を立て直す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○板書ばかりの講義だけにならないよう、ワークシートや視聴覚資料を効果的に活用する。 ○文献資料・地図・写真などの資料を多く取り入れるようにする。 ○新聞やテレビの報道などリアルタイムな社会事象を教科書の内容と関連付けながら、身近な出来事として興味・関心をもてるように指導していく。 ○公民的内容の基礎・基本的な内容の定着を図るだけでなく、地理・歴史的内容についても常に振り返るようにし、社会的事象を総合的に捉えるよう指導する。 ○公民的内容と歴史的内容（近現代史）との関連を図りより効率的に学習を進める。 ○スムーズに授業を展開し、生徒が予習復習しやすいように、ワークシートを活用する。

4. その他(補充的内容及び発展的内容に関する指導について、コンピュータの活用など)

- 夏休みの補充教室を行う。
- 生徒の興味・関心あるテーマを考えさせ、自由課題のレポートを書かせる。
- 新聞やテレビなどメディアの報道・情報を利用し、現代社会との関わりが見える授業を行う。
- 生徒の社会的判断力を培うような発展的内容にも取り組む。
- 映像資料を蓄積・利用し、生徒の興味・関心を高めると同時に、基礎的知識の定着を図る。
- インターネットによる情報収集など、情報活用能力の向上を図る。